令和5年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　71-73 ページ）

政策名	4　まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	17　商工業の振興

目指す姿

商工業の活性化によって、市内で「住む」だけでなく、「働き、消費する」という好循環が生み出されている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 企業の活性化

市内における企業の経済活動の活性化や経済規模の拡大を支援し、地域経済の好循環を促すことで、雇用機会の創出を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	企業支援事業	各種補助制度により、市内企業の経営を支援します。また、企業誘致や市内企業の移転・増設等の企業立地を推進します。地域ブランド「KASHIBA+」の認定品の拡充や市内外での認知度の向上のためのプロモーション活動を実施します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値 (R4)	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値(9月末)	今年度の進捗 実績値(年度末)	今年度の進捗 目標達成度(当該年度比)	今年度の進捗 目標達成度(R6年度比)	担当所管
企業立地件数	件	事業計画を認定した企業数(令和元年度からの累計)	1	6	10	14	7	8	8	9	112.5%	150.0%	産業振興局 商工観光課
各種補助金申請件数	件	市補助金4種(設備投資促進補助金、商品開発・販路開拓等支援事業補助金(～R2産学連携促進補助金)、特許等取得支援補助金、環境配慮型企業定着促進補助金)に対する申請件数(令和元年度からの累計)	7	42	70	98	32	39	38	38	97.4%	90.5%	産業振興局 商工観光課
香芝ブランド認定件数	件	地域ブランド「KASHIBA+」認定件数(令和元年度からの累計)	23	33	43	53	25	26	25	27	103.8%	81.8%	産業振興局 商工観光課

② 創業の促進

市内企業の競争力の強化や新たな産業構造の構築、雇用創出の原動力となる新規企業の創業を支援し、地域経済の活性化を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	創業促進事業	創業者支援制度や香芝市商工会と連携して実施する創業セミナー等により、市内の創業希望者を育成・支援します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6	目標値 R10	目標値 R14	前年度実績値 (R4)	今年度の進捗 目標値	今年度の進捗 中間値(9月末)	今年度の進捗 実績値(年度末)	今年度の進捗 目標達成度(当該年度比)	今年度の進捗 目標達成度(R6年度比)	担当所管
市内での創業者数	人	市の各種制度を活用して創業した人数(累計)	11	66	110	154	27	32	-	29	90.6%	43.9%	産業振興局 商工観光課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名 / 今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価(A/B/C)	今後の方向性 3視点 必要性	3視点 有効性	3視点 効率性	所管判定 成果の方向性	所管判定 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	企業支援事業 ・市内中小企業を支援するため、企業立地推進事業、商品開発・販路開拓等支援事業、特許等取得支援事業、設備投資促進事業を実施する。 ・かしば産業展を開催することで、市内事業者のPRを実施する。 ・商工会と連携し、地域ブランド「Kashiba+」の認知度向上を目的に、庁舎、および市内商業施設等においてPRを実施する。	【実績】 ・設備投資促進補助金の申請件数は例年と比較すると少なかったが、その他の補助金については概ね例年どおりの申請件数であった。 ・昨年度同様、対面形式でかしば産業展を開催し、5年ぶりに飲食ブースやはたらくくるまブースを設けた。延べ490人の子どもが参加し、子どもだけでなく保護者にも市内事業者のPRを行った。 ・昨年度に制作した「Kashiba+」の動画をYouTubeの広告にて放送するなど、積極的にPRを行った。 【課題】 ・市内の500事業者にアンケート調査を行った結果、各制度について知らないという事業者が多く、周知方法を検討する必要がある。 ・「Kashiba+」の市内認知度がまだまだ低い。	A	67	59	77	現状維持	現状維持	【成果の方向性】 ・地域資源を活用した新たな事業の創出や持続可能性の高い産業の誘致を推進するとともに、中小企業支援を充実させるため、補助制度の周知強化を行う。 ・「Kashiba+」のPRについて、地域ブランドとしての認知されることが重要であるため、従来の人が集まるイベントでのPRだけではなく、テレビ・インターネット等の各種メディアを活用して実施する。また、市外だけではなく市内の認知度向上にも努める。 【コストの方向性】 ・補助制度の需要については、事業者へのアンケート等で見極めていく予定のため、コストは現状維持とする。 ・「Kashiba+」については、現状の予算内で引き続き認知度向上を図る。	産業振興局 商工観光課
②−1	創業促進事業 ・創業促進補助金の他、アドバイザー制度、香芝みらい塾等、創業支援関連事業の実施及び周知を行う。	・創業促進補助金 【実績】募集期間:4/18～5/31　申請数及び採択数:5名応募　内、1名採択 【課題】4/1～募集開始期間までの開業者が申し込み出来ないので、制度改正を行う。 ・アドバイザー制度 【実績】創業予定者に対し、適切に制度の案内を行った。 【課題】制度利用者全員が創業に至っていない。 ・香芝みらい塾 【実績】（1/6～2/23　全8回開催　受講者10名） 【課題】開催にあたり周知方法を検討する。	A	67	59	77	現状維持	現状維持	【成果の方向性】 商工会及び市内金融機関との連携により、創業支援施策について周知や支援を行い、創業意識を喚起し地域経済の活性化を図る。創業に至るまでの支援を強化する。 【コストの方向性】 現状維持とする。	産業振興局 商工観光課

施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・各補助金の効果検証を行い、商工振興協議会の意見を踏まえ(仮称)第三次商工振興基本方針の方向性を決定する。 ・「Kashiba+」について、メディアやSNSを活用したPRを行い、認知度を高める。 ・創業促進補助金の対象者を広げるため期間の見直しを行う。 ・香芝みらい塾について市内金融機関やハローワーク等にチラシの配架を依頼する等、周知の強化を行う。

担当課評価	
A	2　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	2　事業	現状維持	2　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　74-75 ページ）

政策名	4　まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	18　農業の振興

目指す姿

農地が適正に保全され、朝市等の利用により農業を身近に感じることができ、地産地消が浸透している。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 農業体制の整備および市内農作物の魅力創造

後継者の支援や新たな担い手育成により、耕作放棄地の増加を防ぐとともに、農地に出没する有害鳥獣による農作物の被害防止に努めます。また、香芝産酒米等の生産拡大を図り、市内外への販路拡大などに取り組みます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	農産物鳥獣被害防止事業	有害鳥獣による農作物被害が発生している地域を的確に把握し、鳥獣を捕獲する猟友会との連携を図りながら対応を行います。	●
①−2	地産地消推進事業	100%香芝産の素材にこだわった農作物の生産拡大や販売の促進、市内学校給食での使用拡大に取り組みます。また、香芝産酒米の生産支援および香芝産酒のブランド化・販路拡大支援などを行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
農業施設の改修達成率	%	改修済み箇所／改修予定箇所	100	100	100	100
市内酒造会社の香芝産酒米使用率	%	香芝産酒米使用量／酒米使用量	13	18	23	28

前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
(R4)	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)	目標達成度(R6年度比)	
100	100	5	100	100.0%	100.0%	産業振興局 農林課
15	17	8	15	88.2%	83.3%	産業振興局 農林課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業実施計画	今年度の事業評価 実績と課題	担当課評価(A/B/C)	今後の方向性 3視点 必要性	有効性	効率性	所管判定 成果の方向性	コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①−1	農産物鳥獣被害防止事業	・香芝市有害鳥獣防止計画及び香芝市アライグマ・ヌートリア防除実施計画に基づき、有害鳥獣による農作物被害が発生する地域において罠を設置し、捕獲を実施する。	【実績】今年度においても豚コレラ等の影響も少なく、昨年度と同数程度捕獲することができ、農作物被害防止に貢献した。 【課題】目撃情報などを元に最新の生息地域や出没地域の把握をして、適切な罠の設置を行う。また、罠の種類についても猟友会と協議し、より効果の高い罠の選定を行う。	B	95	77	87	現状維持	現状維持	今後も猟友会や農事実行組合等で構成される協議会が主体となって地域の現状に即した捕獲を実施していく。	産業振興局 農林課
①−2	地産地消推進事業	・香芝市産酒用米の活用拡大を目指して、酒用米の作付け面積の拡大を図る。	【実績】酒米栽培農家に作付け面積を増やしてもらうことで、昨年度より面積の増加を図ることができた。 【課題】新たな酒米の品種を模索し、さらなる作付け面積の拡大に努める。	B	67	72	95	現状維持	現状維持	香芝産農産物の地産地消推進と販売促進を基本として、販売PRや食農教育、農商工連携を行い生産者支援を実施していく。	産業振興局 農林課

施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・鳥獣被害を防止するため、目撃情報などを元に生息地域や出没地域の把握をし、捕獲効率を上げる。 ・酒米使用率の目標達成を目指して、作付け面積の拡大と製品の販路開拓支援を実施する。 ・みそ用大豆作付け推進のため、市内農家に働きかける。

担当課評価	
A	0　事業
B	2　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	2　事業	現状維持	2　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

（第5次総合計画 前期基本計画　76-77 ページ）

政策名	4　まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	19　観光の振興

目指す姿

観光を目的とした多くの人が訪れることで、市内での消費が促進され、まちにさらなる活気が生まれている。

SDGs該当分野

施策の主な取り組み

① 観光情報の発信

市内の観光情報を発信し、来訪客の増加を図ることで、まちの活力を生み出します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①−1	観光イベント実施事業	市内への来訪客の増加を図るため、観光資源を活用したイベントを実施します。また、パンフレットやSNS等を用いた情報発信、観光に関連したグッズ等の製作を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			(R1)	R6	R10	R14	(R4)	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)	目標達成度(R6年度比)	
観光客数	人	市内4地点の年間推定来訪者数、観光資源を活用したイベント参加者数の合計	40,496	41,000	42,000	43,000	32,388	37,000	21,960	35,096	94.9%	85.6%	産業振興局 商工観光課

② 観光資源の魅力向上

市内の観光資源の魅力を高めることで、さらなる来訪者の獲得やリピーターの創出を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	観光資源魅力向上事業	観光名所への案内標識や解説板の設置、保存を目的とした整備等によって、アクセスや快適性の向上を図ります。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値			前年度実績値	今年度の進捗					担当所管
			(R1)	R6	R10	R14	(R4)	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)	目標達成度(R6年度比)	
観光客の満足度	%	観光客アンケート調査で「香芝市への観光に満足」と回答した人数／全回答者数(二上山・どんづる峯への来訪者対象)	30	40	50	60	71	50	−	72	144.0%	180.0%	産業振興局 商工観光課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課評価(A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
				成果の方向性 必要性 有効性			
				コストの方向性 効率性			
①−1	観光イベント実施事業 ・葛城地域が有する観光資源を活用したイベント・PRを実施 ・市内観光資源を活用したかしばウォークの開催	【実績】 ・葛城地域観光協議会のInstagramを専属のインスタグラマーと契約し、葛城地域のおすすめスポットを週1回～2回のペースで更新。フォロワー数1400人越え達成。また、9月16日、17日、18日に大阪市阿倍野区の「あべの＆」1階にて葛城地域のPRとアンケート調査を実施した。(葛城地域に行ってみたい87%　行ってみたくない13%) ・大和まほろば相撲連絡協議会にて、相撲ゆかりの地を巡るドライブスタンプラリーを実施した。 ・香芝ウォークを10/15(日)に開催。参加者にはカッシーポーチを配布。参加者数340名　内217名にアンケート調査を実施し、香芝ウォークの満足度を確認した。(満足44%　やや満足27%　普通25%　やや不満足4%) 【課題】 ・葛城地域の観光振興を図る新たなコンテンツの開発。相撲発祥の地を活かしたイベントの発信。 ・香芝ウォークの日程調整(10月中旬は自治会の祭りや稲刈りと重なったため)	A	80	現状維持	【成果の方向性】 市単独の他、広域連携によるイベントを通じて市内外へ観光資源をアピールし、観光客の流入及びリピーターの増加を目指す。また、過去の参加者アンケート等を踏まえ、満足度向上のために創意工夫する。 【コストの方向性】 コスト効率も高く、現状の予算において事業を実施する。	産業振興局 商工観光課
				75									
				90	現状維持								
②−1	観光資源魅力向上事業 ・市内観光資源の認知度向上のための観光アプリの周知・利用者増加の促進 ・どんづる峯でのアンケート調査・整備・清掃事業 ・二上山でのアンケート調査・清掃活動及び登山道の安全点検の実施	【実績】 ・文化財観光アプリ(R3.4にリリース)を広報誌やチラシの配布により周知を行った。(R6.1時点のダウンロード数　約800件) ・どんづる峯の周回遊歩道に繋がるルート整備を行った。また、既存遊歩道の維持管理として、立ち枯れの木の除去や草刈りを行った。 ・観光案内看板について、勘平山第1・2号墳及び別所城山第1・2号墳の案内看板を設置した(真美ヶ丘1丁目・4丁目地内)。また、金剛砂王　安川亀太郎翁の解説板を設置した(穴虫地内)。 【課題】 ・文化財観光アプリの利用者数の増加数の鈍化への対応。 ・どんづる峯の周回ルートの周知。	A	80	現状維持	【成果の方向性】 大阪・関西万博に向け、広域連携による周遊観光ルート造成やPR事業の取組が進行している。 観光客の受け入れ体制を整えるため、観光地(どんづる峯など)の整備、情報発信に注力する。 【コストの方向性】 コスト効率も高く、現状の予算において事業を実施する。	産業振興局 商工観光課
				75									
				90	現状維持								

施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・市単独及び広域連携によるイベントを通じて、シティプロモーション及び葛城地域の観光振興を行う。 ・観光資源としてのどんづる峯の安全性の確保及び環境保全を行い、更なる誘客を目指す。 ・文化財観光アプリを活用し、市外からの誘客、また市内での利用者数の増加を目指す。

担当課評価	
A	2　事業
B	0　事業
C	0　事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0　事業	拡大	0　事業
現状維持	2　事業	現状維持	2　事業
縮小	0　事業	縮小	0　事業
休廃止	0　事業	休廃止	0　事業